



浜田 ニュース

季刊 THE USER

株式会社浜田 本社 / 堺市堺区錦綾町2丁3番19号 〒590-0006
 TEL(072)228-3085(代) FAX(072)227-8471
 URL : <http://www.hamada-web.co.jp>

堺営業所 堺市堺区錦綾町2丁3番19号 TEL(072)238-8041(代) FAX(072)227-9037
 大阪営業所 大阪市天王寺区空堀町13番15号 TEL(06)6761-4334(代) FAX(06)6761-4351
 貝塚営業所 貝塚市脇浜1丁目2番20号 TEL(072)431-2241(代) FAX(072)433-2895
 長野営業所 河内長野市楠町東1218番地 TEL(0721)53-1351(代) FAX(0721)53-1357
 彦根営業所 滋賀県彦根市西今町139-4 TEL(0749)23-3945(代) FAX(0749)23-3978
 三宝営業所 堺市堺区三宝町3丁160番地 TEL(072)229-4455(代) FAX(072)227-0763

株式会社エヌテック 和歌山市湊1115-30 TEL(073)431-7385(代) FAX(073)428-0218
 URL : <http://www.ntech-w.co.jp/index.php>

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 旧年中はたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。

2021年はようやくモノづくり業界にも明るい兆しが見えてきました。皆様におかれましても、久しぶりの大規模展示会で大いに旧交を温められたのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの新たな変異株が登場するなど予断を許さない状況は続いておりますが、我々としても我慢を重ねた分、本年は飛躍の年にしたいと気持ちを新たにしております。

業界における変化のスピードも一段と勢いを増しておりますが、今後も皆様を最前線でご支援できるよう、社員一同、さらに専心努力いたします。なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022 年元旦
 株式会社 浜田
 代表取締役社長 濱田 和茂



ファーロボティクス社のエンドエフェクタと柳瀬のサンダー・グラインダーを組み合わせた10種類のキットを用意

「ケンマのヤナセ」として知られる研磨材メーカーの柳瀬が、ロボットを用いた画期的な自動研磨システムの取扱いを始めた。昨年9月に、オーストリアに本社を置く FerRobotics（ファーロボティクス）社と販売パートナー契約を締結。押し付け圧を自動補正し一定に保つファーロボティクス製エンドエフェクタと、柳瀬の研磨ソリューションを組み合わせた自動化提案を展開します。

繊細さが求められる研削加工が難しい分野の1つと、磨作業はこれまで、自動でされてきました。柳瀬の「ケンマのヤナセ」として知られる研磨材メーカーの柳瀬が、ロボットを用いた画期的な自動研磨システムの取扱いを始めた。昨年9月に、オーストリアに本社を置く FerRobotics（ファーロボティクス）社と販売パートナー契約を締結。押し付け圧を自動補正し一定に保つファーロボティクス製エンドエフェクタと、柳瀬の研磨ソリューションを組み合わせた自動化提案を展開します。

柳瀬孝之社長も、「研磨工程を完全に自動化できているユーザーは非常に少ないのではないかと、その難しさを語ります。しかしファーロボティクス社のエンドエフェクタは、ワークの反りや曲面といった表面の誤差、研磨材の磨耗などによって生じる圧力の差を高速かつ自動で補正できる機能を備えています。これによって、あらかじめ設定した一定の押し付け圧を常に維持することが可能に。作業者の熟練度による仕上りのムラを解消できるうえ、研磨スピードも速いため、厳しいサイクルタイムにも対応することが出来ます。エンドエフェクタの単品販売にも対応しますが、「それではいわば車のエンジンだけを販売するようなもの」と柳瀬社長は言います。「Sier」としての技術や研磨への知見がないとシステム構築は難しい。そこで、我々としてはユーザーが導入しやすいよう、エンドエフェクタと柳瀬のサン

柳瀬

磨きのプロが贈る自動研磨システム 圧力を一定に高速補正 10種超のキットも用意



ホイールのような曲面形状のワークに対しても圧力を一定の値に保てる

「研磨工程の自動化は難しい」と諦めてしまっているいませんか。そんな方はぜひ、左のQRコードから自動研磨の実演をご覧ください。認識を新たに、匠の技の自動化に向けた1歩を踏み出しましょう。

「スタンダードな10種類のキットと一体型の3機種で、研磨需要の大半はカバーできると考えています」と柳瀬社長。もちろん、先端の研磨材は同社ならではの幅広いラインアップから用途に適したものを選定できます。

「ケンマのヤナセ」として知られる研磨材メーカーの柳瀬が、ロボットを用いた画期的な自動研磨システムの取扱いを始めた。昨年9月に、オーストリアに本社を置く FerRobotics（ファーロボティクス）社と販売パートナー契約を締結。押し付け圧を自動補正し一定に保つファーロボティクス製エンドエフェクタと、柳瀬の研磨ソリューションを組み合わせた自動化提案を展開します。

自動研磨の実演はこちら



■24時間稼働できる

一体型も

柳瀬が用意したキットはそれだけに留まりません。上位機種として、エ